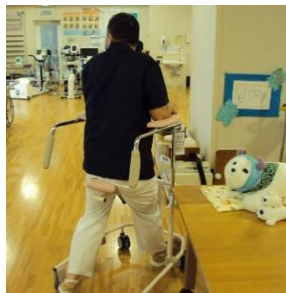


知らないと絶対損する！リハビリ物品紹介！

はじめに

リハビリテーション部では日々、なんと 200 種類以上の評価・訓練道具を使用し、運動療法を行っています。今回は、よく目にするあの物品のマニアックな知識から、院内でもなかなか知られていないあの物品まで、リハビリテーション部備品管理係が厳選してご紹介します！

訓練用具はまさに多種多様！



腰掛けながら歩けるので、膝折れしやすい方や、介助量の多い方におすすめ！



自力で立てない人でも十分に荷重をかけられます！



ハドマー（波動型循環促進装置）

ハドマーは、上肢や下肢の浮腫や循環障害に効果があり、空気の圧力で足先から太ももへと血流を押し上げ、下肢全体の血行を促進するものです。適応は、血液やリンパ液の循環不全の方です。浮腫んでたらどなたでも良いわけではありません。禁忌として、急性静脈血栓症、炎症性浮腫、心臓や血管の疾患などです。主治医からの処方で行います。

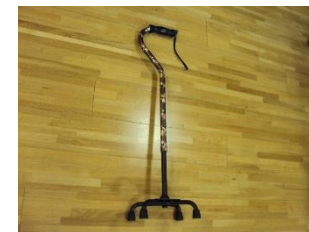
病棟にも持ち運べます！



PT による物品紹介

PT から歩行補助具を紹介します。知ってるつもりでも使い方や合わせ方など困ったりしていませんか？そんな方に参考になればと思います。

◎杖 T字杖は最も多用される杖であり軽い歩行障害などに適応されます。4点杖は安定性が高く、立位バランスの低下に伴い使用されます。ロフトストランドクラッチは上肢を固定する前腕カフがついており、上肢固定力が低下した患者さまに適応されます。



ここで上肢を固定します。

◎歩行器 下肢筋力が低下した方は膝折れや歩行介助を有する患者さまが多いです。患者さま自身も転倒に対する不安・恐怖心を訴えることがあり、そのような患者さまに使用します。設定方法は、立位姿勢で前腕を歩行器肘受けに乗せた際、肩が拳上せず、肘関節が直角に曲がる姿勢が良いとされています。リハビリ室にはサドルのついた歩行器もあります！



サドル付き歩行器！重介助の方でも歩行訓練可能で、早期離床にも使われます！

◎ピックアップウォーカー 歩行器と杖の移行期の際に使用することが多いです。両上肢で支持するため、上肢筋力もある程度必要になり、下肢の支持性も歩行器よりは必要となります。歩行器に比べてコンパクトであり、4点支持の為歩行中の休息もできます。



コマ付き歩行器！上から抑えるとブレーキがかかり、持ち上げなくても歩けますよ！

進化する物療療法機器

牽引療法（牽引機器）

まるでガンダムのコクピットのようなですね。これらリハビリテーション部にある最新の牽引機器です。製品名は「能動的自動間欠牽引装置 Super Trac」、頸椎・腰椎の牽引はもちろんのこと、腰部の温熱機能、ふくらはぎに対して加圧式のマッサージ、さらには心落ち着かせる BGM 付です。頸椎牽引の目的は、頸部周囲筋へのマッサージ効果、筋原性疼痛の改善、自律神経症状の改善といわれています。適応としては、頸椎症やいわゆる肩こり、頸部から上肢の不定愁訴のある方です。腰椎牽引の場合では、腰椎症や関節症、腰痛のある方に適応になります。腰痛に関しては牽引療法が有効であるという報告もあります！



腰が伸ばされてる～！！